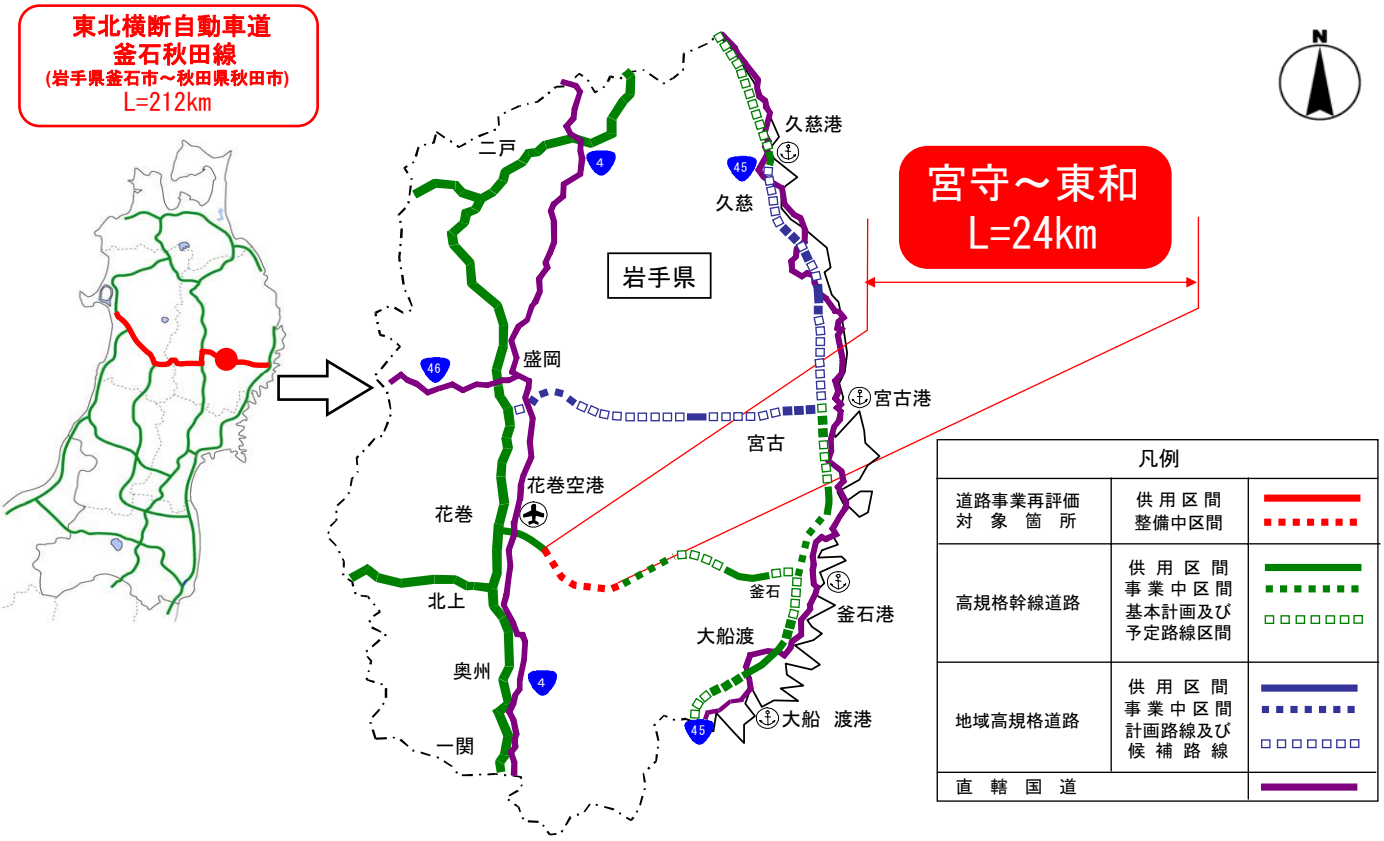
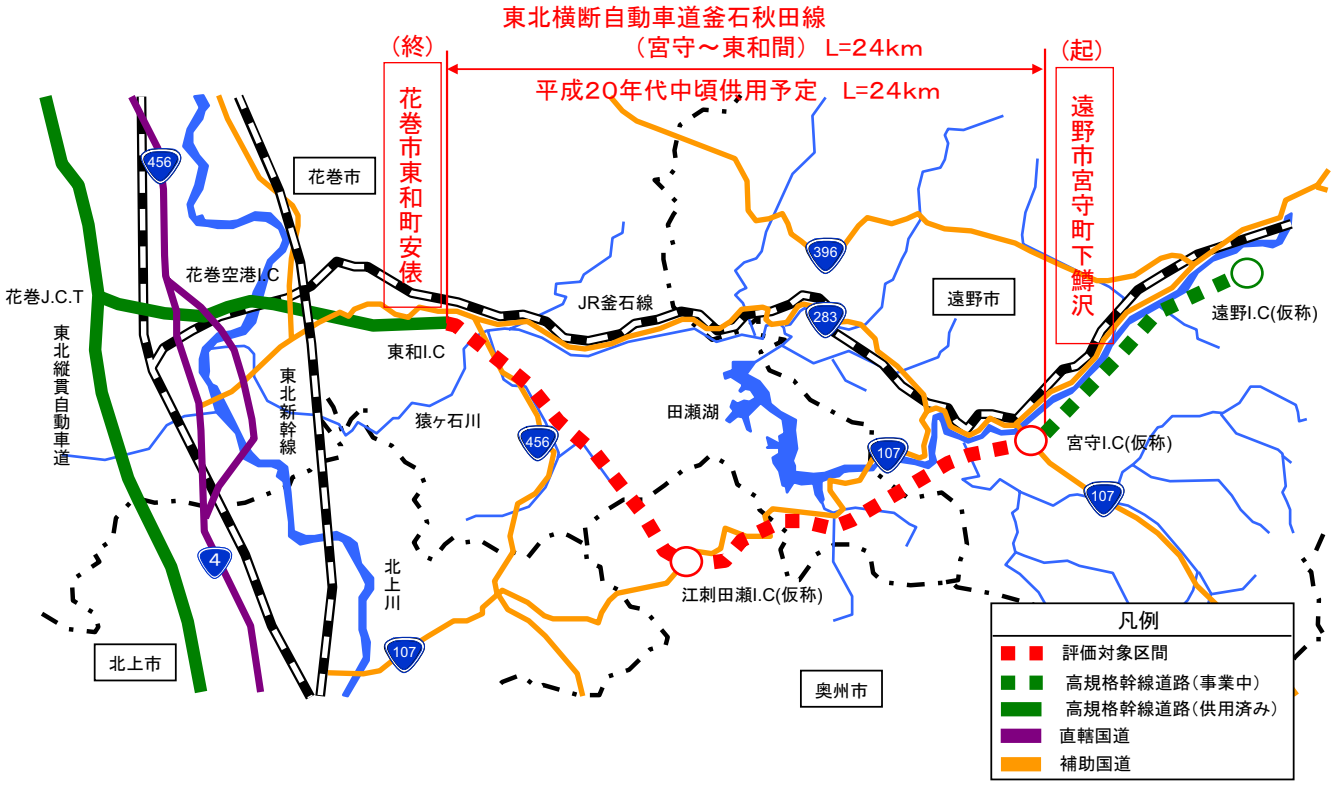
東北横断自動車道釜石秋田線　宮守～東和



事　業　実　施　状　況



東北横断自動車道釜石秋田線　宮守～東和

【評価要件：前回再評価後5年経過】

○事業の目的

・東北地方北部の太平洋側と日本海側の交流・連携の促進
・物流効率化の支援
・緊急輸送道路の信頼性向上
・地域医療サービスの向上

○延　　長　：　L＝24km

○事　業　費　：　772億円

○事　業　化　：　平成10年度

○進　捗　率　：　41%

事業の投資効果

○費用便益費（B／C）

※下表の数値は、基準年（平成20年）における現在価値に換算した金額を記載

費用C（現在価値）	450億円
便益B（現在価値）	953億円
費用便益費　B／C	2．1

計画交通量（平成42年度）

・宮守～東和＝9，200台／日　・現道＝1，500台／日

（参考）

費用便益比（Ｂ／Ｃ）

【道路公団民営化検討時のＢ／Ｃ】
【残事業】２．３　【全　線】２．３

【今回再評価時のＢ／Ｃ】
【残事業】２．１　【全　線】１．３

（道路公団民営化検討時の計画交通量）
宮守～東和＝９，３００～１１，０００台／日
（今回評価時の計画交通量）
宮守～東和＝９，２００台／日
現道　　＝１，５００台／日

対　応　方　針　（　原　案　）

○早期整備の必要性が高い。
- 東北地方北部の太平洋側と日本海側の交流・連携の促進
- 物流効率化の支援
- 緊急輸送道路の信頼性向上
- 地域医療サービスの向上

○地元自治体等からの事業促進の要望がある。

事業を継続実施